

大腿骨近位部骨折患者における下腿周囲長と栄養状態の関連性の検討

■ 研究の対象となる方

2020年11月に当院にて大腿骨近位部骨折に対する手術を受けられた方

■ 目的・方法

急性期病院入院の高齢患者を対象とした調査で、サルコペニア有症者は再入院リスクや死亡率が高いことが報告されています。サルコペニアの治療法として確立しているのは食事療法と運動療法です。サルコペニアと診断された患者さんには栄養強化が必要ですが、立ち上がりテストや握力の測定ができず、診断が困難な場合もあります。

大腿骨近位部骨折は長期入院（安静）が受傷後の生命予後や機能予後にも大きく関与する疾患とされており、また、骨折のきっかけとなった転倒の要因の一つにサルコペニアが挙げられています。そこで、大腿骨近位部骨折患者においてサルコペニアのスクリーニングに用いられる「下腿周囲長」に着目し、下腿周囲長と栄養状態との関連、下腿周囲長の測定が栄養強化の必要性を判断するのに有用であるかについて検討します。

■ 実施期間

2021年9月6日～2022年2月28日

■ 研究に使用する情報

下腿周囲長、身長、体重、年齢、性別、血清Alb値、入院中の食事摂取量など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 栄養部 臨床栄養室 森田 絵茉（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
------------	---

以上